社会福祉法人
熊本いのちの電話
KUMAMOTO INOCHINODENWA
通信 49号[事業報告] 平成26年7月

巻頭言

社会福祉法人 熊本いのちの電話
理事長 福田 稠

熊本いのちの電話は、1985年に、自殺予防の電話相談を目的に設立されたボランティア団体です。120名の電話相談員が、24時間眠らぬダイヤルとして、自殺予防のための電話相談に取りくんでいます。相談員は全てボランティアで、運営の経費も、全て個人や企業の御寄付で賄っています。多くの皆様のお支えに心から感謝致します。

我が国の自殺者数は長らく、年間３万人を超えておりましたが、一昨年から、３万人をやっと下回る事が出来ました。その要因については、定かではありませんが、私達の取り組みも、多少なりともお役に立っているのではないかと喜んでおります。

自殺の原因の要因は多彩で、電話相談だけで、自殺を防止する事は難しいかも知れませんが、電話相談によって、しばし、立ち止まって、自分の生について、見つめなおす時間を持って頂けたらと考えています。

熊本いのちの電話では、今年度も、相談員役職員一同、自殺防止のために、心を一つにして、電話相談に取り組む所存です。どうか、皆様には、今年度も、熊本いのちの電話に御支援賜ります様お願い致します。

通信49号 目次

2013年電話相談状況 P2･3
2013年度事業報告 P4･5
2013年度決算報告 P6
2014年度事業計画 P7
2013年度感謝報告 P8･9
第31期養成講座開講式 P10
第29回記念会および29期電話相談員認定式 P11
役員名簿、事務局日誌、編集後記 巻末

相談電話 096･353･4343

平成25年（2013年）電話相談の状況

（熊本いのちの電話で2013年1月1日～ 12月31日で受信した集計結果です）

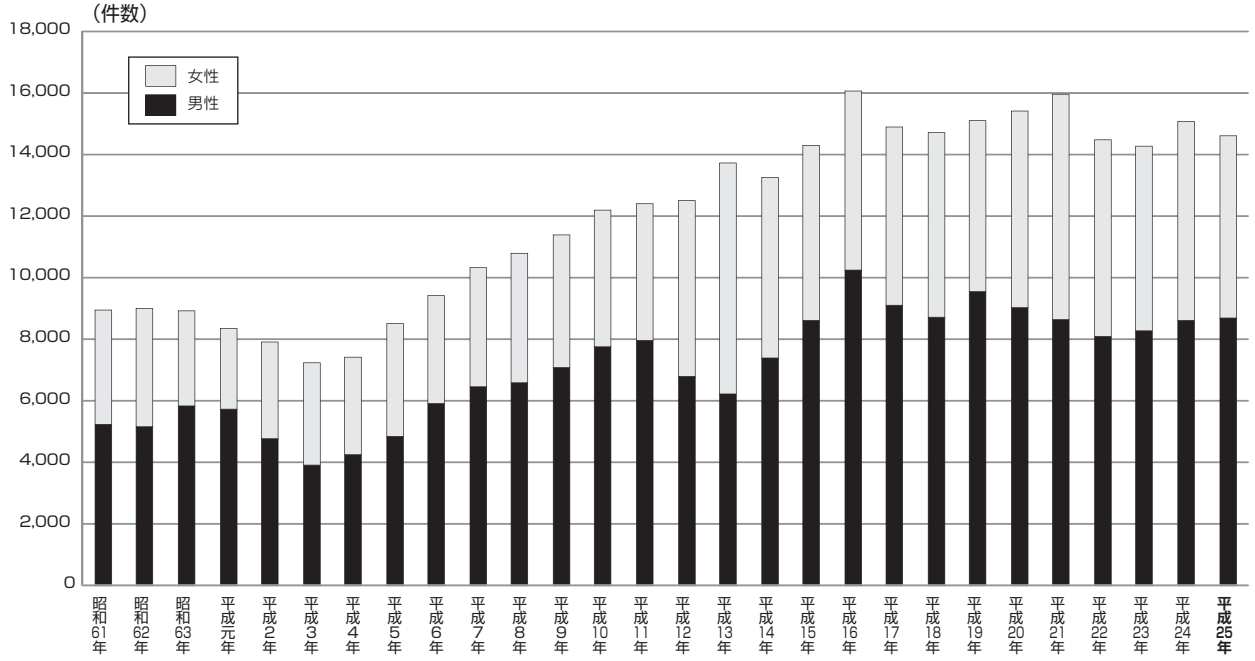
●平成25年の電話相談件数（前年対比）

平成25年の年間の相談件数は14,591件で、前年より483件減少しましたが、グラフ1のように過去10年間、1万5千件前後で推移しています。相談件数のうち自殺志向件数は1,306件で開局以来最高となりました。相談総件数のうち自殺志向件数の割合は8.95%で、前年より0.3%高くなりました。

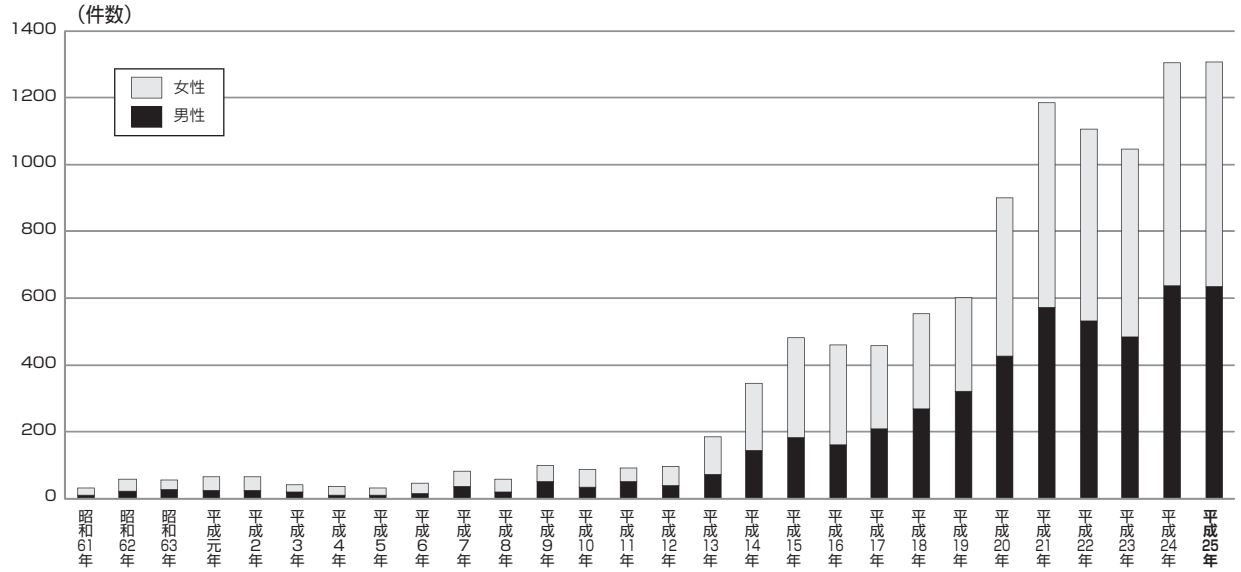
表1.受信件数昨年対比

	総受信件数			自殺志向件数			自殺志向率（%）		
	男 性	女 性	計	男 性	女 性	計	男 性	女 性	計
平成24年	8,610	6,464	15,074	637	667	1,304	7.40	10.32	8.65
平成25年	**8,683**	**5,908**	**14,591**	**635**	**671**	**1,306**	**7.31**	**11.36**	**8.95**

グラフ1. 電話相談受信件数の推移



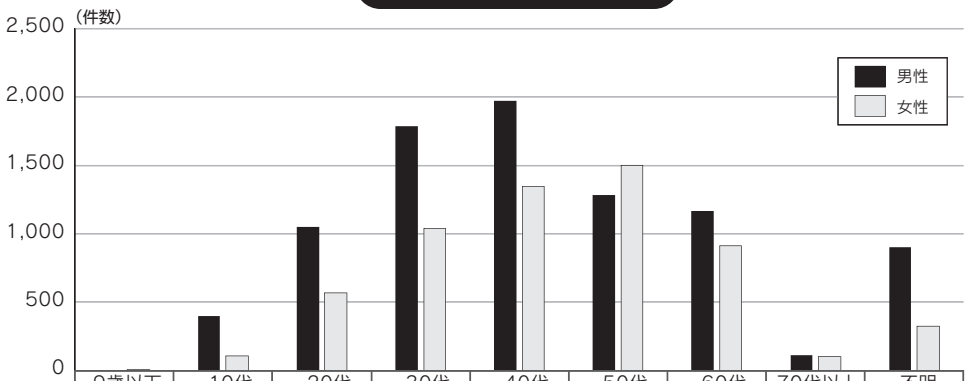
グラフ2. 自殺志向件数の推移



●平成25年電話相談の年代別件数と自殺志向件数

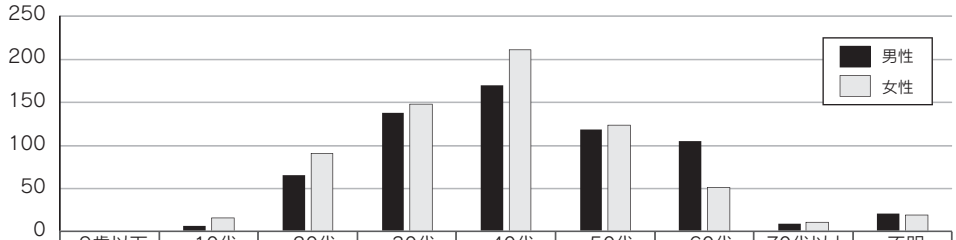
年代別の相談件数は男性は40代、女性は50代がピークを示しており、男女では年代別の傾向が少し山がずれています。ただし自殺志向件数は男女とも40代がピークを示しています。

グラフ3. 年代別相談件数



	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
■男	0	400	1,052	1,789	1,970	1,284	1,169	115	904
■女	3	109	568	1,042	1,345	1,500	913	104	324

グラフ4. 年代別自殺志向相談件数

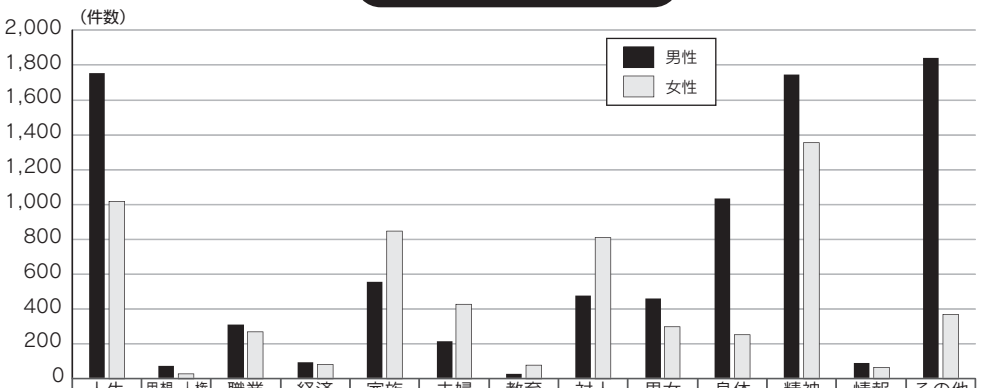


	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
■男	0	7	66	138	170	119	105	9	21
■女	0	16	91	148	211	124	51	11	19

●平成25年電話相談の内容別件数と自殺志向件数

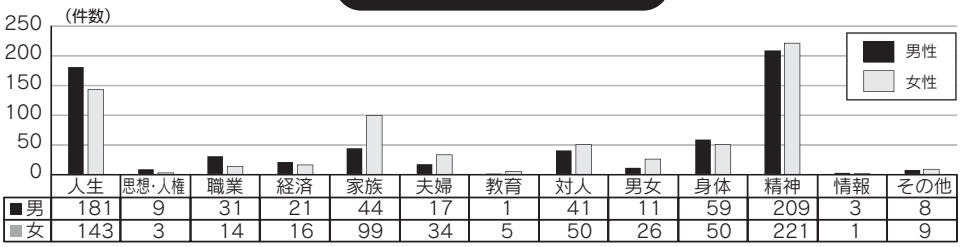
電話相談の内容別件数を分析すると男性は人生、精神、身体についての件数が多く、女性は精神、人生、家庭、対人についての件数が多い。自殺志向の件数は男女ともに精神、人生が突出しています。

グラフ5. 相談内容別件数



	人生	思想･人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他
■男	1,752	73	311	94	556	216	30	476	462	1,033	1,747	91	1,842
■女	1,019	30	270	82	847	429	80	809	298	254	1,353	66	371

グラフ6. 自殺志向相談件数



	人生	思想･人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他
■男	181	9	31	21	44	17	1	41	11	59	209	3	8
■女	143	3	14	16	99	34	5	50	26	50	221	1	9

社会福祉法人 熊本いのちの電話

平成25年度（2013年度） 事 業 報 告

1．電話相談活動

(1)熊本いのちの電話

総受信件数　14,591件　延べ2,360名担当

＊詳細は前ページ「平成25年電話相談の状況」を参照

(2)フリーダイヤル自殺予防いのちの電話

毎月10日　午前8時～24時間　熊本で延べ138名担当

(3)フリーダイヤル「いのちの電話震災ダイヤル」

平成25年9月をもって終了

実施期間　平成23年9月1日～平成25年9月30(日)

受信件数　1,113件　延べ140名担当

活　動

2．研修活動

(1)第３０期　電話相談員養成　基礎講座

場所　熊本ＹＭＣＡ中央センター

①開講式　平成25年5月7日

②前期（公開講座）　5月 7日～10月 8日　22回　52名

③後期（養成講座）10月22日～ 3月25日　21回　31名

④終了式　平成26年3月4日

(2)第２９期生２年目研修（スーパービジョン）

期間　平成25年4月～平成26年3月

人数　14名（男性4名・女性10名）

(3)継続研修

全相談員対象　7研修班構成、月１回実施

(4)全体研修

①平成25年6月23日　熊本県婦人会館　81名出席

テーマ：「九州地区いのちの電話ワークショップ
沖縄大会参加者による分科会報告と検討」

講　師：後藤研修委員長他研修委員

②平成25年11月10日　熊本県婦人会館　51名出席

テーマ：「危機介入のロールプレイ」

講　師：今川　民雄氏　北星大学教授
札幌いのちの電話研修委員長

(5)第38回日本自殺予防シンポジウムへの参加

平成25年9月15日　秋田総合保健センター

テーマ：「リジリエンス：喪失と悲嘆についての新たな視点」

(6)第31回いのちの電話相談員全国研修会へ参加

平成25年10月25日～27日　「おおさか大会」

テーマ：「わすれへんで、あんたのこと
～みんな誰かの大切な人～」

熊本から4名参加

(7)研修委員、研修リーダー合同一泊研修

平成26年3月8日～9日　阿蘇

テーマ：「研修体制の強化について」

全体研修

全体研修

役員会

3. 公開事業・啓発活動

(1)チャリティ公演
　平成25年8月21日　崇城大学市民ホール
　「夕涼み、親子で楽しむ華舞台」800名
　いのちの電話広報ＤＶＤも同時放映
(2)公開講演会
　厚生労働省補助事業　熊本市医師会館
　平成26年2月8日　230名
　講　師：仁木　啓介氏　ニキハーティホスピタル理事長
　テーマ：「自殺の理解と対策」
(3)ボランティアバザー
　平成25年11月24日　交通センター前広場　10名で担当
(4)ＹＭＣＡ主催チャリティゴルフ大会
　平成25年11月15日　高遊原ゴルフ場
　大村理事のお世話により開催
(5)部外広報誌「熊本いのちの電話・通信」を発行
　7月、11月、3月　各1,000部発行
(6)内部広報誌「りんりん」の発行
　31、32、33、34号発行

チャリティ公演

公開講演会

4. 運営活動

(1)開局28年記念会＆第28期電話相談員認定式
　平成25年6月23日　熊本県婦人会館
　　①表彰　皆勤賞（24回以上担当）　57名
　　担当時間1,000時間達成　3名
　　20年活動者　2名
　　②認定　第28期生認定者　7名
(2)相談員の更新認定
　平成26年4月16日　更新判定会開催
　　更新認定者　80名

公開講演会

5. 各種会議

(1)理事・評議員会
　平成25年5月20日　平成24年度事業報告、決算報告審議
　平成26年3月24日　平成26年度事業計画、予算案審議
(2)日本いのちの電話連盟　第4回定期総会
　平成25年6月7日　関西セミナーハウス
(3)いのちの電話　全国事務局長会議
　平成25年7月17日～7月19日　福島県熱海
(4)熊本県自殺対策連絡協議会
　第1回　平成25年8月9日、第2回　平成26年2月3日
(5)熊本市自殺対策連絡協議会
　第1回　平成25年8月12日、第2回　平成26年2月17日
(6)日本いのちの電話連盟　研修担当者セミナー
　平成25年11月13日　名古屋
(7)いのちの電話の将来についての勉強会
　平成25年12月22日　千葉
(8)九州地区事務局担当者会議
　平成25年6月15日～16日　福岡

ボランティアバザー

記念式典

表1

資金収支計算書（要約）

（自平成25年4月1日　至平成26年3月31日）

（単位:円）

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収支			
事業活動収入	8,423,470	10,561,743	△2,138,273
事業活動支出	8,079,413	8,659,076	△579,663
事業活動資金収支差額	**344,057**	**1,902,667**	**△1,558,610**
設備整備等による収支			
設備整備等補助金収入	0	1,978,500	△1,978,500
固定資産取得支出	0	2,084,900	△2,084,900
設備整備等資金収支差額	**0**	**△106,400**	**106,400**
その他の活動による収支			
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動による支出	0	396,000	△396,000
その他の活動資金収支差額	**0**	**△396,000**	**396,000**
予備費支出	0	0	0
当期資金収支差額合計	**344,057**	**1,400,267**	**△1,056,210**
前期末支払資金残高	13,954,437	10,272,255	3,682,182
当期末支払資金残高	14,298,494	11,672,522	2,625,972

熊本いのちの電話

平成25年度 決算報告
平成26年度 予算報告

平成26年3月24日および5月21日の評議員会、理事会におきまして25年度決算および26年予算が資金収支計算書（表1）、事業活動計算書（表2）、貸借対照表（表3）の通り承認されました。

表2

事業活動計算書（決算および予算書）

25年度決算　（自）平成25年4月1日　（至）平成26年3月31日
26年度予算　（自）平成26年4月1日　（至）平成27年3月31日

（単位:円）

勘定科目		25年度決算	26年度予算
サービス活動増減の部			
収益	維持会費収益	2,016,000	2,000,000
	賛助会費収益	1,766,215	1,770,000
	講習受講料収益	2,071,500	850,000
	事業収益	2,013,622	1,900,000
	共同募金会収益	200,000	200,000
	善意銀行収益	50,000	50,000
	補助金収益	2,307,500	1,500,000
	雑収益	132,932	37,000
	サービス活動収益計	**10,557,769**	**8,307,000**
費用	人件費	2,663,074	2,510,000
	事業費	1,966,071	2,180,000
	事務費	4,029,931	3,266,236
	減価償却費	1,342,807	1,489,231
	設備整備等特別積立金取崩額	△989,384	△1,134,467
	サービス活動費用計	**9,012,499**	**8,311,000**
サービス活動増減差額		1,545,270	△4,000
サービス活動外増減の部			
収益	受取利息配当金収益	3,974	4,000
費用	支払利息	0	0
サービス活動外増減差額		**3,974**	**4,000**
経常増減差額		1,549,244	0
特別増減の部			
収益	設備整備等補助金収益	1,978,500	0
費用	設備整備等特別積立金積立額	1,978,500	0
特別増減差額		0	0
当期活動増減差額		1,549,244	0
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額		10,502,164	13,051,408
当期末繰越活動増減差額		12,051,408	13,051,408
基本金取崩額		1,000,000	0
次期繰越活動増減差額		**13,051,408**	**13,051,408**

表3

貸借対照表

平成26年3月31日現在

（単位:円）

資産の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	**12,553,145**	**10,490,263**	**2,062,882**
現金・預金	12,105,600	10,356,659	1,748,941
有価証券	6,603	6,603	0
未収入金	0	1	△1
貯蔵品	307,862	0	307,862
前払費用	38,100	35,100	3,000
仮払金	94,980	91,900	3,080
固定資産	**35,326,049**	**34,187,956**	**1,138,093**
基本財産	**24,565,432**	**31,000,000**	**△6,434,568**
土地	7,000,000	7,000,000	0
建物	16,565,432	16,961,432	△396,000
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0
減価償却引当特定預金	0	6,038,568	△6,038,568
その他の固定資産	**10,760,617**	**3,187,956**	**7,572,661**
器具備品	4,074,474	2,854,481	1,219,993
ソフトウェア	211,575	293,475	△81,900
敷金	40,000	40,000	0
建物減価償却引当特定預金	5,434,568	0	5,434,568
減価償却引当特定預金	1,000,000	0	1,000,000
資産の部合計	**47,879,194**	**44,678,219**	**3,200,975**

《脚注》減価償却費の累計額　9,661,919円

負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動負債	**880,623**	**218,008**	**662,615**
未払金	713,989	124,274	589,715
預り金	4,634	15,734	△11,100
前受受講料	162,000	78,000	84,000
固定負債	0	0	0
負債の部合計	880,623	218,008	662,615
純資産の部			
基本金	30,000,000	31,000,000	△1,000,000
設備整備等特別積立金	3,947,163	2,958,047	989,116
次期繰越活動増減差額	13,051,408	10,502,164	2,549,244
（うち当期活動増減差額）	(1,549,244)	(1,398,522)	(150,722)
純資産の部合計	46,998,571	44,460,211	2,538,360
負債及び純資産の部合計	**47,879,194**	**44,678,219**	**3,200,975**

社会福祉法人 熊本いのちの電話

平成26年度（2014年度） 事業計画

事業方針

1.電話相談員体制の充実拡大
（1）24時間相談体制の充実　（2）電話相談員の研修体制の充実　（3）電話相談員150名体制の確立

2.財政基盤のさらなる構築　（1）維持・賛助会員の拡大　（2）チャリティ事業の充実

3.広報活動の展開　（1）マスメディアへの積極的な広報依頼　（2）各種広報誌の充実

4.開局30周年事業のための準備

1. 電話相談活動

（1）熊本いのちの電話
365日24時間　2人受信体制

（2）フリーダイヤル自殺予防いのちの電話
毎月10日　午前8時～24時間

2. 研修活動

（1）第31期　電話相談員養成　基礎講座
場所　熊本ＹＭＣＡ中央センター
①開講式　平成25年5月13日
②前期（公開講座）　5月13日～10月21日　21回
③後期（養成講座）11月 4日～ 3月31日　21回
④修了式　平成27年3月10日

（2）第30期生研修（スーパービジョン）
期間　平成26年4月～平成27年3月
人数　27名（男性7名・女性20名）

（3）継続研修
全相談員対象　7研修班構成、月１回実施

（4）全体研修
①平成26年6月22日　くまもと森都心プラザ
②11月30日　吉備国際大学　加藤博仁教授
③平成27年2月28日
ルーテル大江教会　立野泰博牧師
④認定1年目、3～4年目リフレッシュ研修

（5）第39回自殺予防シンポジウムへ参加
平成26年9月13日　北九州国際会議場

（6）第32回いのちの電話相談員全国研修会へ参加
平成26年11月13日～15日　「ぐんま大会」

（7）社会資源見学
詳細は未定

3. 公開事業・啓発活動

（1）チャリティ公演
平成26年8月20日㈬　崇城大学市民ホール
監修／中村花誠　出演／ザ・わらべ他

（2）自殺予防いのちの電話公開講演会
平成27年2月28日
講師　大江ルーテル教会　立野泰博牧師

（3）ボランティア週間
平成26年11月開催予定　交通センター広場

（4）ＹＭＣＡ主催チャリティゴルフ大会

（5）部外広報誌「熊本いのちの電話・通信」を発行
7月、11月、3月　発行予定

（6）内部広報誌「りんりん」の発行
年間3回発行予定（5月、9月、1月）

4. 運営活動

（1）開局29年記念会＆第29期電話相談員認定式
平成26年6月22日　くまもと森都心プラザ

（2）相談員の更新認定　平成27年4月

（3）第32期養成講座募集　平成27年3月～ 4月

5. 各種会議

（1）理事・評議員会
平成26年5月21日　平成25年度報告
平成27年3月　平成27年度計画

（2）日本いのちの電話連盟総会
平成26年6月5日　東京飯田橋レインボー会館

（3）全国事務局長会議
平成26年7月1日～ 3日　東京ガーデンパレス

（4）日本いのちの電話連盟九州ブロック
九州地区ワークショップ長崎大会
平成26年7月19日～ 20日

（5）九州地区研修担当者会議
平成26年7月20日　長崎

熊本いのちの電話　感謝報告

維持会費・賛助会費（2013年4月1日～ 2014年3月31日）

法人・団体の部

（敬称略・順不同）

1,030,000円
西日本システム建設（株）　柏尾　敬秀

200,000円
社福）熊本県共同募金会

150,000円
ＹＭＣＡチャリティゴルフ会

100,000円
（医）愛育会　福田病院　福田　稠
熊本YMCA
東京エレクトロン九州（株）及び従業員一同
肥後銀行（株）　甲斐　隆博
（株）マルタ號　山田　哲大

75,710円
熊本ロータリークラブ

50,000円
アーク・リソース
一般財団法人 熊本ひまわり財団
おむすび太郎　高口　恵子
第一信用金庫
公益財団法人 熊本善意銀行

30,000円
（名）大橋時計店　大橋　善治
大村法律事務所　大村　豊
熊本学園大学
（株）熊本ホテルキャッスル
国際ソロプチミスト熊本
西部電気工業（株）
千歳公認会計士事務所　千歳　睦男
日本基督教団 熊本 草葉町教会
仏厳時　高千穂哲也
（株）古荘本店　古荘　善啓

20,000円
（株）上田商会　上田　隆利
（株）魚国総本社 九州支社
NTT西日本 熊本支店
（株）カメイホールディングス
九州電機工業(株)　樋口　和男
九州ネクスト(株)　中江　章三
熊本医療ガス（株）　白瀬貴美子
熊本市キリスト教 連合婦人会
（株）小竹組　小竹　征記
（株）雇用促進事業会　島田　俊郎
（株）三勢
新産住拓（株）　小山　英文
セベ産科用品（株）　坪田　隆二
第一生命
（株）たしろ住設　田代　貴久
中村孝彦税務会計事務所　中村　孝彦
不二高圧コンクリート（株）　岸川健太郎
明正電設（株）　片渕　康文
元田社会保険労務士事務所　元田　克秋

10,000円
出田実業（株）
インマヌエル熊本 キリスト教会
（株）上田建設　上田　るみ
（株）木村　木村　光男
熊本城稲荷神社　本田　光曠
（医）孔子会　豊田　大徳
（有）高翔　高口　裕之
（株）コスギ不動産　小杉　康之
（有）コームヨシモト　吉本　寛治
（有）沢産業　黒沢真太郎
三陽（株）
（社福）泗水福祉会　斎藤　禎子
（合）三共建設　中野　博視
（弁）大知 田中法律事務所　田中　俊夫
竹下清税理士事務所　竹下　清
だれにも音楽祭
（株）鶴屋百貨店
（株）中山組　中山あさ子
日本福音ルーテル室園教会 女性の会
ひばり保育園
法光寺　沖田　芳惇
（株）みどりや　東　静一
（株）三宅保険綜合企画　三宅　満
メガネの大宝堂　布田　昭
（株）山内本店　山内　卓
ゆうかり調剤薬局　髙井　正照
熊本ＹＷＣＡ

6,000円
熊本バレエ研究所　伴　征子

5,000円
オフィスムジカ　西嶋　公一
（株）亀井ランチ　亀井　明徳
（株）熊本日日新聞社　伊豆　英一
さいが綜合法律事務所　雑賀　庸泰
西田総合保険（有）　西田　至
日本基督教団　錦ヶ丘教会
（株）ニュースカイホテル
南九州マルヰ（株）　田吹　勇
森本法律事務所　森本　耕司

4,000円
熊本聖三一教会

3,000円
遠山歯科医院　遠山　啓介

2,000円
誠光寺　島村　純孝
ツカサ創研　渕田　俊郎
（医）日隈会　日隈病院　日隈　健作
森山法律事務所　森山　義文

個人の部

（敬称略・順不同）

100,000円
荒木　孝憲

30,000円
後藤　秀昭

20,000円
木下　康
小佐井久美子
武田　哲夫
田中　裕子
久野　啓介

11,000円
野々口　絹子

10,000円
池田　幸藏
池田　菖子
井上　新
入山　透
上田　昭八
江藤　美幸
小笠原　嘉祐
梶山　純子
清野　健
小澄　康彦
小林　幹穂
下牛尾　英子
谷口　桂子
廣石　妙子
古荘　紀代
宮崎　公子
持永瑞恵・摩子
森崎　賀久子
（匿名）

9,000円
緒方　喜六

7,000円
前田　幸子

5,000円
藍澤　春美
青木　悟
青木　孝子
赤崎　輝男
浅見　マサエ
石川　ヱミ子
出田　信行
猪本　耀子
上原　仁朗
江崎　啓子
エバタエミリ
河北　敏夫
岸川　秀樹
鴻江　友紀子
澤村　美智子
住本　玲子
田代　妙子
中田　千枝子
羽江　忠彦
濱田　宏子
葉山　武志
原　史章
原田　敬子
藤井　輝彰
藤本　伸哉
古荘　信次
堀　浩善
牧　勝美
牧　睦美
松村　二美代
松本　千鶴子
松本　春美
宮崎　美緒子
宮本　進夫
村上　輝代
村上　伸樹
矢野　妙子
山本　了
（匿名）

4,000円
川崎　良子
北里　美知子
郡山　和代
広瀬　美貴子

3,505円
27期生

3,000円
児玉　幸子
榊　龍盛
堤　咲子
西井　くに子
野村　富美子
開　由美子
山下　謙之介

2,000円
新　圭子
伊久美　寛志
市野　和恵
岩崎　三千恵
上村　みどり
内田　守夫
大井　和美
大我　京子
奥村　千秋
小嶺　正子
小田部久美子
加塩　弘已
片山　裕視
門脇　愛子
清永　サチ子
小出　史
坂梨　あやめ
佐々木　洋子
鈴木　和代
髙崎　義江
中野　愼一郎
中村　静代
中村　頌子
中村　富貴子
永尾　佳代
野中　千恵子
原園　祐子
福田　秀雄
益田　典子
松崎　悟
光永　尚生
宮崎　健三郎
宮脇　ヤス子
森村　陽子
山瀬　由美
吉田　迪子
米倉　容子
笠　和美

1,000円
大洞　一成
高森　洋子
船本　満幸
（匿名）

その他、切手、お茶、コーヒー、お菓子等のご提供がありました。
また、バザー用品のご提供もたくさんありました。心から感謝いたします。

チャリティ公演ご支援（広告）団体 （2013年8月21日　市民会館崇城大学ホールにて）

（敬称略・順不同）

(医)愛育会　福田病院	九州ツバメタオル(株)	(医)寿量会　熊本機能病院	昇建設(株)
荒木商店	九州ルーテル学院	新産住拓(株)	(株)ハリマエンジニアリング
(株)入江タクシー	熊本朝日放送(株)	瑞鷹(株)	肥後銀行　紺屋町支店
ＮＴＴ西日本　熊本支店	熊本医療ガス(株)	セレクトショップ　日子	(医)ピネル会　ピネル記念病院
(株)エービーシー	(株)熊本エステートサービス	添島歯科医院	ヒューテック九州(株)
(株)エフ・エフ恵(一ら久食品)	熊本学園大学	(有)園村タタミ工業	(株)風雅
(株)大谷楽器店	熊本企業開発(株)	ソフィアレディースクリニック	(株)ベネッセコーポレーション
(名)大橋時計店	高遊原カントリークラブ	水道町	松尾建設(株)　熊本支店
大村豊法律事務所	熊本第一信用金庫	大熊本証券(株)	(医)まつばせレディース
尾田胃腸内科・内科医院	熊本電気鉄道(株)	(株)たしろ住設	クリニック
介護老人保健施設	熊本トヨタ自動車(株)	(株)建吉組	松本外科医院
孔子の里	(株)熊本日日新聞社	(医)田中会　田中耳鼻咽喉科	Ｍｒ.カンカン
学校法人銀杏学園	(株)熊本マタニティサービス	ちゃんこ料理　やっこ	(株)ミスターリースリー
熊本保健科学大学	熊本マリスト学園	堤　化学(株)	南日本酪農協同(株)
介護老人保健施設	熊本ＹＭＣＡ	(株)TMプランニング	(有)都環境開発サービスセンター
おおつかの郷	(株)香梅	(株)TKUヒューマン	(株)三宅保険綜合企画
化学及血清療法研究所	(株)コスギ不動産	(株)テレビ熊本	(有)みやはら
(株)カトー	子育て支援ワーカーズ	(株)トウヤ	メガネの大宝堂
菊池グランドホテル	ぺぺぺぺらん	特別養護老人ホーム　泗水苑	山下医科器械(株)　熊本支店
(医)菊陽レディースクリニック	(株)雇用促進事業会	中村孝彦税務会計事務所	(株)山内本店
(株)木村	金剛(株)	西日本システム建設(株)	ワタキューセイモア(株)
九州学院	三陽(株)	(医)野尻会　熊本泌尿器科病院	

維持・賛助会費をおよせくださった方々

（2014年４月１日～５月31日）

法人・団体の部

（敬称略・順不同）

(社福)熊本県共同募金会	(株)三宅保険綜合企画
竹下清税理士事務所	三宅　満
竹下　清	YMCAチャリティゴルフ会

個人の部

（敬称略・順不同）

赤星　敦	井上　新	後藤　加奈子	中山　維子
伊藤　緑	岡本　洋子	武田　哲夫	松本　千鶴子

あなたの優しさで
熊本いのちの電話の
活動を支えて下さい。
多くの苦しむ人に
寄り添って下さい

熊本いのちの電話の活動は、個人・法人の皆様からのご寄付が大きな支えとなっています。皆様のご支援なくして電話相談活動を維持することはできません。

どなたでもできます。

ご支援の金額は随意です。

まずはお電話下さい。

左記の振込先に、ご送金頂く事もできます。

熊本いのちの電話事務局
電話096－345－4343（平日10時～17時）

振込先

口座名／社会福祉法人 熊本いのちの電話

郵便振替　01910－8－11836

銀行振込

ゆうちょ銀行	七一七（ナナイチナナ）店	(普)2011232
肥後銀行	水道町支店	(普)1271746
熊本銀行	下通支店	(普)2122553

なお、熊本いのちの電話は、平成25年3月5日に熊本県知事から税額控除対象法人の証明を受けましたので、同日以降、個人が熊本いのちの電話に対し行った寄付について、確定申告により所得税の税額控除が受けられます。また、従来通り住民税の税額控除も受けられます。

税額控除は個人による小口寄付に有利な制度ですので、是非ご活用ください。

※詳しくは、熊本いのちの電話のホームページをご参照ください。

第31期生 電話相談員 養成講座スタート!!

第31期生の養成講座の開講式が去る5月13日㈫、熊本ＹＭＣＡにおいて赤星副理事長はじめ各役員臨席のもと開催されました。

17名の受講生を迎えて赤星副理事長からの挨拶後、早速１回目の講座“いのちの電話の歴史と現状”について池田副研修委員長からいのちの電話の成り立ちや相談員としての心得などが話されました。

熊本いのちの電話は「眠らぬダイヤル」として発足しましたが、150名の相談員の確保が難しいのが現状です。近年、全国での自殺者数はわずかに減少はしてきましたが、それでもまだ３万人近くの方々が自らの命を絶っています。また悩みを抱える人口は、うつなども含め増加傾向にあります。対応策としましては、電話回線をフル活用し受信件数を増やしていくことが望ましく、その為の努力は必要不可欠なものと考えます。31期生の皆さんには全員が相談員となって、熊本いのちの電話の新しい力となって頂くことを願っています。

31期生の養成講座

養成講座募集にあたり御協力を頂きましたマスコミ各社および各市町村広報誌関係の皆様へは、紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

なお、来年開講の第32期生の募集は平成27年3月頃の予定です。皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。(詳細は事務局迄お尋ね下さい)

一年前の養成講座を振り返って

K.U （30期生）

現在、いのちの電話相談員養成講座を受講して二年目となり、実習が始まり、三か月が過ぎようとしています。私は僧侶であり、自殺者の葬儀を執り行うことがあります。そのような場で、遺族や身近な方の悲しむ姿や自分を責める姿を目の当たりにし、自殺が無くなることを願わずにはおれませんでした。そこで自殺願望を持っている人の声が聞けたらという思いで受講させていただきました。

講義は、どれも興味深く、目から鱗が落ちるような思いでした。特にカウンセリングでの話を聞く姿勢についての講義は、私にとって貴重な学びでした。まだまだ身には付いていませんが・・・。

今、相談者の生の声を聞くようになって感ずることは、皆孤独感を抱えているということです。独りだから寂しいというわけではなく、誰かと居ても孤独に感じているように思います。自分の気持ちが分かってもらえないと感じ、分かってもらえる誰かを探しているのではないか。だから、私に話が伝わったと相談者が感じた時、とても明るい反応に変わるのです。

そこで私はハッとしました。普段私は身の周りの人の声をしっかり聞いているだろうか、孤独を感じさせているのではないか。大切なところを見落としているのではないか。家族や身近な方々との関わり方について改めて考えさせられる良い機会をいただいたように思います。

Y.S （30期生）

昨年5月、養成講座の受講を始めました。同じ目的を持つ方々と机を並べる週一の講座は、私にとって楽しく居心地のいい場でした。とても実り多く、有意義な日々でした。また、自分史を書いたり、死生観について考えたことで、自分を見つめ直すことができました。

今年4月からは、研修生として、電話当番を担当しています。こちらは、「研修」ですが、相談者の方は、そうは思っていません。毎回、一生懸命電話を受けています。性の電話に嫌な思いをし、頻回の相談者には戸惑いを覚えました。また、自分の語彙力の無さを痛感しました。思い返しては、あの対応でよかったかと反省しきりです。しかし、「聴いてくれてありがとう」「話して心が軽くなった」などと言ってもらえると、嬉しくて緊張がほぐれました。

そういう中で、月一回のスーパービジョンは、待ち遠しいものです。皆さんと話すことで、電話対応の不安が解消され、気持ちが軽くなるからです。本当に仲間との繋がりは、とても大事です。そして、話すということの重要さを感じています。同じように、相談者の中には、繋がりを求めて電話をされる方もいるのではないかと思います。誰しも誰かと繋がっていたいのでは…。

阿蘇での一泊研修の終わりに、「心ある相談員になろう」と思ったことは、今も変わりません。心をこめて話せば、きっと気持ちは伝わると信じて電話を受けています。これからもその気持ちを大事に、学んでいこうと思います。

第29回記念式典 および 29期生認定式

平成26年6月22日森都心プラザに於いて、第29回記念式典および29期生認定式が行われました。80名の相談員を前にして福田理事長が、「この29年間、熊本いのちの電話は多くの人の支えで続けてこられた。ここ2、3年、自死者は3万人を切っているが、自死の本当の原因はよく判らない。減らすための努力をやっていかなくてはならない」と挨拶されました。

次に後藤研修委員長が、「29期生の方々、養成講座スーパービジョンお疲れ様でした。苦手な電話もあると思うが、様々な経験を積んでこれからも続けていってほしい」と話されました。

続いて役員紹介があり、その後1000時間以上担当の3名、勤続20年の2名、25年度貢献賞20名の相談員が表彰されました。引き続き行われた認定式では、福田理事長より29期生12名に認定証が手渡されました。29期生の代表者は「6月は紫陽花の季節です。紫陽花は小さな花の集まりで、団結などを表しています。私たちも紫陽花の花のように団結して頑張っていきたいです。どうぞよろしくお願いします」と決意を表明されました。

その後、30期生27名の紹介があり、相談員会会長が歓迎の気持ちを込めて「おめでとうございます。最初に電話を受けた時の“ハラハラ　ドキドキ”の気持ちを忘れてはいけないと思います。熊本いのちの電話は、来年30周年を迎えます。新しい期の方はパワーを注入してもらい、先輩の方々は経験をふまえて支えていただいて、皆で頑張っていきましょう」と挨拶され、和やかな雰囲気の中、式は終わりました。

福田理事長の挨拶

認定証授与

認定を祝う会

よろしくネの挨拶

28期生6名の担当で開催。「29期生の認定を祝うために、ない知恵を絞りました」とT氏の挨拶で始まりました。

オープニングは華やかな色とりどりの衣裳を身にまとってのフラダンス。皆さんの腰の振り具合もなかなかのもので、熱演して下さった6名に大拍手。男性二人のムームー姿も美しくお似合いでした。御注意!!決して“やみつき”になられませんように。

その他、文字の色あてクイズ。大きな輪を作っての誕生日マップ作りと続き、最後は雨の音を目を閉じて指、手、ひざ打ち、足鳴らしと弱から強への表現。全員が一体になった気分を味わわれたのではないでしょうか。趣向を凝らしての祝う会に、29期生の皆さんもきっとご満足頂けたことだと思います。

ここで得たエネルギーを是非今後の相談活動に生かして下さることに期待致します。

全体研修

全 体 研 修

記念式典・認定を祝う会を滞りなく終えた午後からは、相談員のための全体研修会が行われました。初めに3名の相談員が、日頃の電話応対で生ずる思いを発表。その後、いくつかのグループに分かれ、皆でそれぞれの考えや感想、気づきを自由に出し合いました。言葉にすることで、かけ手の背景が鮮明に浮かび、自分の感情にもしっかりと向き合え、自ずとこれからの課題が見えてくる思いがしました。相談員が一同に集まり、お互いの思いを共有できた貴重な研修でした。

相談員総会

第16回熊本いのちの電話「相談員総会」が行われました。相談員会会長より「皆さんのご協力によって様々な課題をクリアできました。ありがとうございました。今年度は新人の方が30名入られとても嬉しい。先輩の皆さんと共に私も新人の方へ良いアドバイスができるよう頑張って行きたいと思います」と挨拶がありました。

また、前年度代表者への謝辞も述べられ、平成25年(2013年度)の活動報告があり2014年度の活動計画、事業方針、研修班代表者の紹介へと移りました。特に30周年の記念行事について、また相談員の手引きの大きな改正等について広く意見を求めて行きたいと力強く述べられました。

社会福祉法人 熊本いのちの電話
平成26年度

役員名簿

平成26年3月の役員会で、役員の交代が決定しました。坂本克明様、與縄義昭様、古荘善啓様に代わり、岡　成也様、井原　宏様、古荘文子様が選出されました。長い間のご支援に感謝と、新任のかた、宜しくお願い申しあげます。

2014.4（平成26年度）

役　職	氏　名	勤務先・職業
理事長・評議員	福田　　稠	医療法人社団愛育会　福田病院理事長
副理事長兼事務局長	赤星　　敦	西日本システム建設（株）　相談役
副理事長兼研修委員長	後藤　秀昭	九州看護福祉大学社会福祉学科　准教授
常務理事・評議員	池田　幸藏	池田事務所　所長
理事・評議員	大橋　善治	（名）大橋時計店　代表社員
理事・評議員	大村　　豊	大村豊法律事務所　弁護士
理事・評議員	中村　孝彦	中村孝彦税理士事務所　税理士
理事・評議員	久野　啓介	熊本地名研究会会長
理事・評議員	小笠原嘉祐	特定医療法人社団ピネル会　ピネル記念病院　理事長
理事・評議員	岡　　成也	熊本ＹＭＣＡ総主事
評議員	青木　　悟	カトリック健軍教会　神父
評議員	田上　文蔵	熊本いのちの電話　広報委員長
評議員	出田　信行	大熊本証券　代表取締役社長
評議員	榊　　政彦	㈱エービーシー　社長
評議員	悦　　正治	熊本第一信用金庫　専務理事
評議員	西嶋　公一	オフィスムジカ　代表
評議員	日野　充裕	東部ＹＭＣＡ　館長
評議員	元田　克秋	（一社）全国労働保険事務組合連合会　熊本支部会長
評議員	吉村圭四郎	瑞鷹㈱　代表取締役副社長
評議員	井原　　宏	熊本トヨタ自動車㈱　常務取締役管理本部長
評議員	古荘　文子	古荘土地㈲　代表取締役
監　事	堤　　弘雄	国際ギデオン協会熊本県支部　役員
監　事	草刈　昌志	西日本電信電話㈱熊本支部　企画総務部長

電話相談ボランティアのお誘い

あなたのやさしさを「熊本いのちの電話」のボランティア相談員として生かして見ませんか。やる気があればどなたでも出来る活動です。関心のある方はお気軽に事務局にお電話ください。相談員の活動や育成方法などわかりやすくご説明いたします。

■編集後記

四季折々の草花をめでながらのウォーキングを始めて5年余り、今の季節は紫陽花が美しい。あちこちの家々の庭先に、或いは垣根越しに色とりどりの紫陽花が楽しめる。過日、あるお宅前を通り過ぎかけた時に「ただいまー」の声が聞こえた。御主人と思われる方が出先から帰宅。玄関を開けての第一声。この「ただいまー」の声がなんと気持ちよくステキに耳に響いたことか。はっきりと明るいよく通る声に思わず立ち止まってしまう程だった。

通信をご覧いただく頃は季節も移り、草花も表情を変えていることでしょう。今号もお読みいただきましてありがとうございました。

事務局日誌

平成26年 4 月～ 26年 6 月

26年 4月	11日	定例運営委員会
	16日	共同募金配分式　出席
	25日	チャリティ実行委員会
5月	9日	定例運営委員会
	13日	第31期　養成講座開講式
	21日	理事・評議員会
6月	5日	日本いのちの電話定期社員総会
	13日	定例運営委員会
	22日	開局29年記念会・認定式（認定者12名）

毎月10日 フリーダイヤル（08:00 ～ 11日08:00まで）

社会福祉法人 熊本いのちの電話
事務局

〒860-8691　熊本中央郵便局私書箱155号
TEL096-354-4343
発行人：福田　稠　　編集：広報委員会

熊本いのちの電話　検索

赤い羽根共同募金配分金により作成したものです。